



寄宿舍便り

令和4年9月2日発行
第7号
文責 磧上

いよいよ2学期が始まりました。1学期に延期になった行事に加え、みんなで楽しく盛り上げられるイベントを企画できたらと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。
また、夏季休業中において、寄宿舍生の安心安全な生活を維持するための様々な職員研修を行いましたので、いくつか紹介させていただきます。

寄宿舍教育研修会

8月3日、県内の寄宿舍職員合同の研修会をオンラインで行いました。県教育委員会講話、各校でのICT活用の取組報告、発達障がいについての講話の内容で行いました。

各校からの報告の中に、新しい生活様式の中での行事として、昨年度本校で実施したビンゴ大会を取り入れた寄宿舍が2校あり、とてもうれしく思いました。また盲学校としてのInstagramでの情報発信にも興味をもってくださっていました。これからも舎生の皆さんと職員とでアイデアを出し合い、情報機器を活用しながらいろいろなことに取り組んでいきます。また、講話や他校の実践から学んだことを寄宿舍生活に還元していきます。

【管】



食育研修

8月23日、本校の開美彩都栄養教諭を講師に迎え研修を行いました。1つ目の講話内容はSDGSの中のフードロスについてお話をいただきました。フードロスを減らすための取組として、

- ① 買いすぎ→使う分だけ買う。
- ② 期限切れ→期限内に使い切れるかを考える
- ③ 食べ残し→自分で食べきれぬ量を見極める

など話があり、改めて意識した生活が大切だと考える機会になりました。

2つ目の講話内容は災害非常食についてお話をいただき、日頃食べる機会の少ない非常食の試食を行いました。発熱材を利用し作るハンバーグライスキットの調理は初めて経験&試食する職員が多く、温かい非常食を食べる貴重な経験になったと思います。非常食について、選ぶポイント（消化に良いもの、カロリーがあり、栄養のバランスに優れたもの、簡単に調理ができて長期間保存ができるもの、おいしくて食べ慣れているもの）を教えてください、今後の非常食選びの参考になりました。

【松野】



広域防災センター研修

8月5日に熊本市広域防災センターで職員研修を行いました。まず、施設の方から概要について説明をしていただき、県内で数少ない地震の揺れや火災の煙体験などができる場所で、毎年たくさんの見学者が来られるという話を聞きました。数人ずつのグループに分かれて、震度3～7までの地震の体験や、風速20m/秒の風の体験、真っ暗な部屋に煙が充満した状態で非常口を目指す体験をしました。初めて体験する職員が多く、災害時の貴重な疑似体験をすることができ有意義な研修になりました。今後の緊急時対策に役立てていきます。【碩上】



人権教育の取組 ～職員編～

夏季休業中に職員研修として、人権に関する知識を広め、個々の人権意識向上を目的に、熊本県人権センターが開講している『熊本県人権啓発Web 講座』を受講しました。全15講座の中から、それぞれ自分が興味関心のある講座を選び、視聴しました。講座内容は、部落差別や認知症、ネットトラブル、コロナウイルス感染症、子どもの人権など幅広く、人権教育全般にわたって、学ぶことができました。

研修を受けてのアンケートでは、自分自身のこと置きかえて振り返る感想が多く、新しく知ることだけでなく、知っていると思っていた内容を学び直すことができ、自分の感覚を研ぎ澄ますいい機会となりました。

※『熊本県人権啓発Web 講座』は、県の登録講師によるオンライン講座で「いつでも、どこでも、だれでも」無料で受講が可能です。簡単な登録は必要となりますが、気軽に学べる動画です。関心のある方は、ぜひ熊本県のHPをご覧ください。【本田】

【お知らせ】

7月寄宿舍便りでお知らせしていましたが、人権インタビュー「周りの人とかがかわるときに心がけていること」について、7月に掲示や放送を行う予定でしたが、9月中旬からの実施になりましたので変更をお知らせいたします。また来舎の際にみなさんにご覧いただけたらと思います。【本田】

9月行事予定

1日	誕生者紹介	18:30～
	役員会	18:45～
9日～16日	十五夜飾り	
12日	お月見茶話会	18:20～

